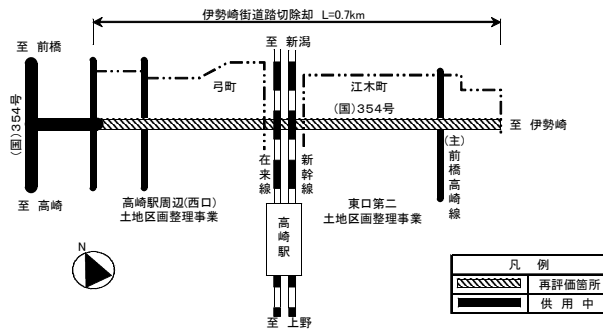


再評価結果（平成16年度 事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名 一般国道354号 <small>いせざきかいどうふみきり</small> 伊勢崎街道踏切	事業区分 一般国道	事業主体 群馬県
起終点 自：群馬県高崎市弓町 至：群馬県高崎市江木町		延長 0.7 km
事業概要 一般国道354号は、群馬県高崎市を起点として茨城県鹿島郡大洋村に至る延長約212 kmの幹線道路である。本路線と平面交差する伊勢崎街道踏切は、高崎市街地の交通に重大な影響を与えている。このためアンダーパス方式による立体交差化事業にて4車線化し、市街地の渋滞を緩和することで、JR高崎駅へのアクセス時間の短縮、バス路線の定時性を図るものである。		
S63年度事業化	S57年度都市計画決定 (H年度変更)	H63年度用地着手
全体事業費 73億円		事業進捗率 73%
計画交通量 20,900台/日		供用済延長 0 km
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.2 (残事業) 30.0	総費用 (残事業)/ (事業全体) 6 / 82億円 (事業費: 5/81億円) (維持管理費: 1/1億円)
総便益 (残事業)/ (事業全体) 180/180億円 (走行時間短縮便益: 155/155億円) (走行費用減少便益: 20/20億円) (交通事故減少便益: 5/5億円)		基準年 平成15年
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（踏切交通遮断量が10,000台時/日以上での踏切道の除却） ・無電柱化による美しい街並みの形成（対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り） 他4項目に該当（定量的評価項目を除く）		
関係する地方公共団体等の意見 ・一般国道354号伊勢崎街道踏切の除却事業は、地域交流の促進、交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、高崎市より早期整備の要望を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・(主)前橋高崎線等の道路整備により駅周辺は交通渋滞が緩和傾向にあるが、本事業箇所は依然として、特に朝夕のラッシュ時に慢性的な渋滞が続いている。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・昨年度、仮設のバイパス工事が完了し、本年度から線路下の掘削を開始したところである。引き続き工事を推進し、早期供用を目指す。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・JR委託工事部分は鉄道を通しながらの作業になるため制約が多い。また、工事箇所の地下水位が高く軟弱地盤となっているため、作業効率が悪化しているが、夜間工事等で早期完成に全力を尽くしている。		
施設の構造や工法の変更等 ・二次製品や再生材（アスファルト、砕石）を積極的に利用し、コスト縮減に取り組んでいく。		
対応方針 対応方針決定の理由 ・以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。